

子どもミーティングの  
「まちづくりの提言」に対する処理方針

平成30年度  
鹿児島市 市民協働課

## 「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

平成30年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
<b>&lt;観光&gt;</b>			
1	<p>維新ふるさとの道から維新ドラマの道を歩く中で観光のスポットは沢山ありましたが、目立たなくて見つけづらいので、わかりやすい目印がほしいです。</p> <p>また、その目印は市内の中高生から公募してもらえれば、応募者や当選者はその目印に対して愛着も湧くと思います。</p> <p>鹿児島を盛り上げるためには、中高生が中心となっていくといけないと思います。</p>	観光交流局	<p><b>【番号1～5の提言内容について】</b></p> <p>観光に関する様々な観点からの提言で、私どもが常日頃から取り組んでいるもの以外のお話もいただきました。鹿児島の観光を若い方々で盛り上げようという熱い想いが伝わりました。これから鹿児島が目指す観光の大きな視点として、観光交流局、産業局それぞれの局でこれらの提言を踏まえながら色々な事業に取り組んでいければと思います。</p> <p>鹿児島には魅力ある資源がたくさんあると思っておりますが、そのことについて市民、特に若い方が享受できていないことも課題であり、できるだけ市民の皆様方に知っていただくような取組を強めていかなければと思っております。</p> <p>また、空き家対策の話もありましたが、鹿児島でも大きな課題であり、取り組まなければならないことであります。活用方法について提案をいただきましたのでぜひ参考にして、我々が取り組むべき方向性をしっかり決めていければと思います。</p>
2	<p>1日目の宿題で観光を調べている時に、鹿児島では空き家とシャッター街が問題になっていると知りました。</p> <p>空き家は、中高生を中心にリノベーションから運営までをします。リノベーションを進める中で新たな人との繋がりが出来たり、運営を行う中でお金の仕組みを学ぶ事が出来ます。それは新しい地域産業を生み出す事に繋がり、地域の活性化と同時に中高生の鹿児島への愛着を促すことが出来ます。お金が関わることなので難しいかもしれないけれど、そこを大人にフォローして欲しいです。</p> <p>シャッター街は中高の美術部などが絵を描いたりして華やかな場所にします。それだけでも話題性があると思います。</p>	産業局	
3	<p>私の提言は、4つあります。</p> <p>1つ目は維新ふるさとの道に観光客や障害者の方、皆さんにとって利用しやすい音声ガイドの設置です。人の声でガイドをすると列の後ろまで聞こえないことがあります。また4～5ヶ国語に対応したものとより良いと思います。</p> <p>2つ目は維新ふるさと館へのスタンプの設置です。子供達がより楽しく観光ができ、維新ふるさと館へ足を運びたいようになるように、西郷さんや大久保さんの格好をした人がスタンプを押してくれたらなお良いと思います。</p> <p>3つ目は維新ドラマの道にあるARの場所への屋根付きベンチの設置です。周囲に日陰がなく、夏は暑いです。またスマホを持たない人のためにARの映像の絵と説明が書かれたパンフレットを設置してほしいです。</p> <p>4つ目はみやげ横丁(鹿児島中央駅構内)全体で盛り上がりしてほしいという事です。お店によっては盛り上がり薄い店舗もあります。地元の方や、みやげ横丁全体で盛り上がりれば買い物もしやすくなります。</p>	観光交流局	

## 「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

平成30年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
4	<p>1日目に、鹿児島島の観光地を歩き、魅力を感じました。私は魅力を知って鹿児島島が好きになったし、きっと他の中高生も魅力を知れば、地元に残りたくなったり、貢献したいという気持ちになると思います。</p> <p>例えば中高生が企画運営する子ども向けの「鹿児島島の魅力発見ツアー」ですが、鹿児島市にはバックアップしてほしいです。</p> <p>ツアー名は「わっぜか体験子どもツアー」。小中学生向け、中高生プレゼント。舞台は桜島でイルカウォッチングや桜島大根の収穫、天然足湯作りに桜島ガイドウォーク、帰りは皆で一日の振り返りをしたりする内容になっています。</p> <p>企画側と参加側の両方を若者にすることで、その世代に鹿児島島の魅力をより伝えられます。また企画に参加する学生は志が高い人が集まると思うので、ステップアップの場にもなると思います。</p>	観光交流局	
5	<p>現在、大河ドラマ「西郷どん」でまちが賑わっているが、それだけで終わらないように、歴史のテーマパークのような鹿児島市になってほしい。</p> <p>大人の方には、他県の人にも鹿児島島の事を話せるように、歴史上で有名な人物の情報を学べるようなイベントをしてほしい。子どもには、鹿児島島の歴史を身近に感じれるイベントとして、維新ふるさと館周辺でのショーなどがあると面白いです。私と同世代には、SNSを利用して発信してもらえるようなイベントをしてほしいです。足を運んでもらって周りの人との繋がりが出来るような内容でも良いと思います。</p>	観光交流局	

## 「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

平成30年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
<b>&lt;スポーツ&gt;</b>			
6	<p>私は気付いた事が3つありました。</p> <p>1つ目が白波スタジアムに行くまでにユナイテッドFCの広告がないこと。</p> <p>2つ目がユナイテッドFCの広告の中に選手が写り込み過ぎていて1人1人を認知できないこと。</p> <p>3つ目がスタジアムグルメが男性向けのがっつりしたものしかないこと。</p> <p>集客数を増やすには、中高生や若い女性にも興味を持ってもらう必要があります。そこで私が考えた解決策があります。</p> <p>1つ目がユナイテッドFCの広告を作り、スタジアムや鹿児島中央駅の近くに電光掲示板を配置して流す。</p> <p>2つ目が選手1人1人、11種類のポスターを作る。</p> <p>3つ目が、集客数を増やすために女性向けのスタジアムグルメを作る。また、ユナイテッドFCの中だけでなく中高生の意見を聞く。色々な学校の生徒と一緒にユナイテッドFCや鹿児島の魅力が詰まったスイーツを考えると良いと思います。</p>	観光交流局	<p><b>【番号6～8の提言内容について】</b></p> <p>かごしまユナイテッドFCに対しての提言をいただきました。スポーツによるまちづくりは、市政の大きな柱でもあります。多くの皆様にスポーツを通じて鹿児島に来ていただき、また鹿児島を愛し、鹿児島に住んでいただきたい。スポーツの力はとても大きいと思います。そのようなことから、チームをより身近に感じられる、また愛着を持って市民・県民の方が接することができるような環境づくりが大切です。そういったことを提言としておっしゃっていただいたかと思えます。</p> <p>また、女性やおもてなし、そして受験生の視点でのユニークな提案もいただきました。現在、サッカースタジアムの整備について検討しているところでありますので、参考にさせていただきたいと思えます。ありがとうございました。</p>
7	<p>鹿児島ユナイテッドFCのチーム名は知っていても、選手1人1人の事を話せる人は多くないと思います。そこで僕はSNSで毎日1人、選手が情報発信をしたらいいと思います。SNSで選手が行った場所や食べたものを発信して、もっと選手を身近に感じられるようになれば良いと思います。</p> <p>白波スタジアムの成功事例で「スタジアムで宿題」という企画がありましたが、勉強をしないとイケない受験生は行きにくいと感じると思います。でも、勉強だけだとストレスもあったり、勉強の質も下がります。そこで僕が提案するのが「受験生応援キャンペーン」。夏休み前にチラシを配ります。チラシには学割クーポン券を付ける。後輩や友達も安くなるペアチケットが貰えたり、受験生向けに“受験にカツ”というカツを貰える特典も良いと思います。</p>	観光交流局	

## 「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

平成30年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
8	<p>初日の宿題をして気付いた事がありました。J1・J2といった上のチームのグルメがすごい。自分達の思い入れのある料理や郷土料理を提供していてすごいと思いました。</p> <p>鹿児島にも、有名な食べ物といえば？「とんこつ、かるかん、サツマイモ」ぱっと出るくらい良いものは沢山あります。アウェイの人達に鹿児島の良さをアピールするきっかけにもなると思うので、ぜひ取り入れてほしいです。</p> <p>また、その時その人に合わせた座席があったら嬉しいと思います。他のスタジアムだと、「畳の席」、「バーカウンター席」、「家族で座れる席」といった席があって、こんな席があるともっと行き易いと思いました。そんな席で美味しい物を食べ、サッカーを観る事ができれば最高です。陸上用トラックに畳を敷いて試合を観戦できるスタジアムもあって面白いと思いました。</p> <p>実際に私が6月に試合を見に行った時にも一緒に応援していたサポーターの人達と歌って帰るくらい楽しかったんです。そういう事を添えて情報発信して、ぜひスタジアムに足を運んでも貰えるようにしてほしいです。</p>	観光交流局	

## 「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

平成30年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
<b>&lt;障害福祉&gt;</b>			
9	<p>皆さんは鹿児島バリアフリーツアーセンターを知っていますか？ここで働いている人は皆ボランティアで、20代から高齢の方まで世代がとても広いです。仕事の内容は鹿児島県各地のバリアな所やバリアフリーな所を、車椅子の方などに発信する仕事です。例えばこのお店はスロープやエレベーターがついているとか、ここは階段がとてもきつい、入口や通路が狭いとか。その場所が車椅子でも行けるかどうかわかります。興味がある方は是非足を運んでみて下さい。</p> <p>バリアを感じる場所の中でも一番変えたほうが良いなと思ったのは1日目にアミュを回った時に通った横断歩道です。</p> <p>実際に私が車椅子に乗って横断歩道を渡った時に向こう側から来る自転車にぶつかりそうで、少しの距離ですがとても不安になりました。</p>	健康福祉局 危機管理局	<p><b>【番号9～12の提言内容について】</b></p> <p>障害のある方々に寄り添った提言をしっかりといただき、皆さんの優しさに感動いたしました。鹿児島市も障害のある方、ない方に関係なくノーマライゼーションということで色々な事業を進めていますが、今、皆さんが感じられた具体的なことについてはなかなか気づかない点があったかと思えます。具体的なご指摘やご要望をいただきました。</p> <p>また、情報発信をしっかりとすべきだというご提案もいただきました。現在、広報戦略室を4月に新設してできるだけ多くの方に情報を共有できるように取組みを進めていますので、これらの提言も広報戦略という観点から大変重要だと思いますのでぜひ取り組んでいければと思います。</p> <p>そして、2年後には鹿児島で国体もありますし、また障害者のスポーツ大会も開催されますので、多くみなさまが鹿児島にお越しくださいます。そういう面でも鹿児島は障害のある方にも大変優しい、またそういう取組みを進めている都市ということをしかりと情報発信できるように取り組んでいければと思っております。具体的な提言をいただきまして本当にありがとうございました。心から感謝いたします。</p>
10	<p>まち歩きをして気付いた事は中央駅からイオンに行くまでに、使うエレベーターの場所がわかりにくい事でした。通る時にエレベーターの目印が無い事がわかりました。地下に降りるとエレベーターの横に看板がありました。エレベーターに乗ってみるとカビくさい匂いが気になりました。</p> <p>問題点としては看板の表示が小さくてエレベーターがわかりづらい事です。また利用者が少なく換気がされていないと思えました。案内があると利用する人が増えるのでエレベーターの扉の開き締めが増えて、匂いも改善されると思います。</p>	健康福祉局 建設局	

## 「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

平成30年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
11	<p>私は1日目のまち歩きで自分が知らないことが多いとわかりました。だからこそ今一番大事なのは情報発信だと思います。</p> <p>情報発信の対象者はまず健常者です。様々な場所の不便な現状や障害者が困っている時どうすべきか等発信したいです。次に車椅子の方、障害者の方。障害者の方は観光に行く時、トイレや段差があるか等調べなくてはいけないのに、情報は意外と少ない。だから車椅子でも行ける場所の情報発信が大切だと思います。</p> <p>発信方法の1つは新聞。また若い人向けにはSNSを利用します。またYoutubeで鹿児島市のHPに車椅子の方が観光している動画を流せば、わかりやすいし、HPを見た県外の方へのPRにも繋がると思います。SNSを利用する際は、欲しい情報がすぐ見られる様、色々な情報をまとめると良いと思います。</p> <p>情報を集める仕組みとしては「障害者で旅行したい人」を鹿児島市が雇い情報提供してもらう。障害者の方が「自分が行きたい所ではなく車椅子でも行ける所を選ぶ」という現状から、「沢山の情報の中から行きたい所を選べる」ように変化すれば、観光の楽しみが増えるはずです。</p> <p>今健常者と障害者は知らないゆえに相手を傷つけ、傷ついた障害者の方はあまり外出しなくなり、お互いを知る機会が更に無くなる悪循環になっています。健常者の方はもっと情報を知って、障害を持つ方は外に発信するという双方の努力が大事だと思います。</p>	健康福祉局	
12	<p>皆さんは外食する時、どこで食べますか？お店に行くと色々不便なことがあると思います。皆さんそれぞれ理想のお店があると思うけど、私の理想のお店を作るなら「ハッピー店」という名前のお店です。</p> <p>考えたきっかけは、中高生ミーティングで他県のバリアフリーを調べた時に神奈川県「風の音」というお店を見つけたことです。その「風の音」を参考に鹿児島にも「ハッピー店」を作って欲しいです。</p> <p>「ハッピー店」は通路が広くて段差もない、トイレは車椅子の方でも使いやすい、料理も一口大で誰でも食べやすいというようなバリアフリーなお店にしたいです。店内には触れたら自動で開くドアや多目的トイレの設置、照明が暗くなっても手元が見えるようカウンターにライトをつける工夫もします。建てる場所は鹿児島の中央駅近くがいいです。安全にお店に来れるよう歩道も整備しバスも作りたいたいです。誰でも来やすく皆が交流が出来るお店を作りたいたいです。</p>	健康福祉局 産業局	